



戦争を語りつぐ会 ご案内

安倍政権は、日本を「戦争のできる国」にしようとしています。

日本は、70年前まで戦争による悲惨な経験をしてきました。当時の戦争する社会を知る方がたは少なくなっています。その体験を聞き、戦争の本当の姿を知る必要があります。

戦争は始まってから止めるのは困難です。戦争がどれほど愚かな行為なのか、私たちで話し合い安倍政権の暴走に歯止めをかける足場を固めましょう。

テーマ：狂気の時代を再現させてはならない ～軍国主義の少年時代を生きて～

話し手：湯浅治男さん

(小松市在住：小松爆音訴訟第1次原告団長)

1932年小松市生まれ(83歳)。8人兄弟の4番目として生まれる。白楊幼稚園、稚松小学校附属幼稚園、芦城小学校時代は軍国主義、国家主義教育のもとで過ごす。昭和20年4月に旧制小松中学校入学、夏休み中の8月15日に玉音放送を聞く。昭和26年3月小松高校卒業。丸福物産入社(織物会社)、大阪支店勤務中の昭和28年に丸福物産が倒産。20歳で小松に戻り自分で会社を経営。大川町の青年団に加わり平和、環境、政治、戦争、憲法、歴史問題に取り組むようになる。PTA改革、小松基地の自衛隊ジェット機配備・飛行差し止め訴訟などに取り組む。自主出版『かけはし』第1集、第2集を発行。

とき：8月1日(土) 午後2時～4時

ところ：小松市公会堂 第1会議室 (入場は無料です)

主催：戦争をさせない石川の会 <http://nomorewar-ishikawa.com>

(共同代表：山村勝郎、筋昭三、菅野昭夫)

<連絡先> 金沢合同法律事務所 電話 076-221-4111